

第6回 ふくしまME (防災)コース カリキュラム

(令和6年8月23日現在)

	1日目：10/24(木) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	2日目：10/31(木) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	3日目：11/8(金) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	4日目：11/14(木) ＜やないぶれあい館（柳津町）＞	5日目：11/27(水) ＜南東北総合卸センター組合会館＞	6日目：12/7(土) ＜南東北総合卸センター組合会館＞
1時限	(9:30-9:40) 共通-1 実施要項説明 担当：福島県、事務局	(9:20-11:20) <*1回10分休憩> 防災-6 盛土安定診断と安定度評価 担当：仙頭紀明教授（日本大学工学部） ●盛土の安定性評価に関する設計指針変遷の概要 盛土の構成要素と変状の原因（素因・誘因） 盛土の安定性評価の考え方と方法	(9:20-10:40) 防災-12 落石予防工・落石防護工 担当：小沼千香四（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●落石防護工の基本 予防工・防護工の設計の考え方 落石対策施設の維持管理	(9:30-9:40) ガイダンス (9:40-10:00) 移動等	(9:20-10:50) 防災-13 ロック/スノーシェッドの概説 担当：長尾晃（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●導入時期による劣化機構の相違 構造形式による劣化機構の相違 設計・施工による劣化機構の相違	(9:30-12:30) 認定試験 (筆記試験)
	(9:40-10:30) 共通-2 福島県の社会基盤施設の維持管理の現状 担当：福島県土木企画課		(10:50-12:10) 防災-15 トンネルの構造、点検体系、定期点検 担当：尾崎裕司（建設コンサルタンツ協会 東北支部） ●点検トンネル構造の種類 構造特有の変状の特徴 点検時の留意点 点検体系、定期点検の考え方・方法	(10:00-12:00) (12:40-15:30) ＜現地実習＞ 斜面安定・落石、シェッド、トンネルの点検、診断に関する現地実習 (主要地方道 柳津昭和線) 担当： 中村晋 首席研究員 (日本大学工学部) 日本技術士会東北本部福島県支部 他	(11:00-12:30) 防災-14 ロック/スノーシェッドの点検、診断対策 担当：八巻誠一（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●点検の目的と種類と維持管理 構造で異なる（RC構造、PC構造、鋼構造等）点検項目及び方法 損傷事例写真を基にした損傷の把握と健全度ランクの判定	
2時限	(10:40-11:30) 【特別講話】 共通-3 災害と防災気象情報の利活用 担当：福島地方気象台					
3時限	(11:40-12:40) 防災-4 福島県の地形・地質および工学的課題 担当：渡部貴史（福島県地質調査業協会） ●地形/地質区分から想定される災害の危険因子	(11:30-12:50) 防災-7 盛土点検計画と安定工 担当：増子裕一（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●安定性評価のための調査手法 対策工を行うまでの監視（モニタリング）方法 安定工の目的と種類 盛土点検計画と健全度評価のポイント	(13:00-14:00) 共通-4 MEの行動憲章と技術文書作成の基本 担当：中村晋 首席研究員（日本大学工学部） ●技術者としての論理／ふくしまME 技術者としての行動のあり方 技術文書の構成、文書の書き方の基本に関する理解		(13:20-14:40) 防災-16 トンネルの調査 担当：鶴原敬久（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●詳細調査実施が必要な変状の特徴 定期点検の着目点 詳細点検の実施	(13:30-17:00) 認定試験 (口頭試問) 担当：各講師
	(13:30-14:30) 防災-4 福島県の地形・地質および工学的課題 担当：熊谷広幸（福島県地質調査業協会） ●福島県内での災害事例からの福島県の地形・地質の特徴 工学的課題について資料調査、現地調査および室内試験等による問題点評価手法	(13:40-15:00) 防災-9 斜面安定施設の点検計画、診断 担当：島良一（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●斜面（のり面）の不安定化要因と点検診断のポイント 斜面崩壊の代表的形態毎に適用される標準的な対策工	(14:10-15:30) 防災-8 斜面安定診断と安定度評価 担当：中村晋 首席研究員（日本大学工学部） ●防災点検の経緯、点検から診断、対策の流れ 斜面崩壊の素因と誘因に基づく、斜面安定性の診断に関する考え方 詳細点検、対策工を含む斜面安定性評価の考え方	(14:50-16:10) 防災-17 トンネルの対策工 担当：鶴原敬久（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●対策工設計の考え方 具体事例 適切な定期点検の実施に向けた留意事項		
4時限						
	(14:40-16:20) 防災-5 環境作用によるコンクリート・鋼構造物の劣化 担当：皆川翔平（インフラ長寿命化研究会） 笠野英行准教授（日本大学工学部） ●シェッドおよびトンネル覆工における環境作用と劣化 コンクリート構造物・鋼構造物に発生する劣化の特徴	(15:10-16:10) 防災-10 斜面安定施設の対策工 担当：島良一（日本技術士会東北本部 福島県支部） ●代表的な斜面（のり面）安定対策工 （抑制工、地下水排除工等、抑止工、グラウトアカー工等）の施工事例	(15:40-17:00) 防災-11 落石診断と安定度評価 担当：中村晋 首席研究員（日本大学工学部） ●落石の発生源の理解 調査票に基づく安定度の判定の考え方 落石の運動機構として転動、落下などに関する力学挙動の基本 落石防護施設設計の基本的な考え方	(15:30-16:00) 移動等 (16:00-17:00) 意見交換会		
5時限						

(※講義日時及び担当講師は、変更となる場合がありますので、予めご了承ください)